



正門の紅梅・白梅

## 【 子 育 て ! 】

校 長 三橋 国雄

3月弥生、町のいろいろなところで梅や桃の花が咲き始めました。これからきれいな景色の季節になります。本校の正門横にもきれいな紅梅・白梅が咲いています。今年は寒暖の差が大きく体調を崩しやすいので心配です。健康面の配慮をしっかりとしながら、年度末のまとめをしっかりしていきたいと思っています。

今年度最後の学校だよりなので、子育てについて考えてみたいと思います。

よく学校と家庭と地域が協力をして子ども達を育てましょうと話します。学校はそのままの通り学校です。その中心になるのは管理職だけでなく、担任や専任ではないでしょうか。家庭とはその中心になるのは保護者の皆様だと思います。そしてこの町に住んでいらっしゃる皆様が地域となると思います。したがって、それぞれが協力し合って子ども達を育てているということだと思います。

2月25日の日曜日に綱島の青少年指導員の皆さんが中心になり、綱島東小学校で餅つき大会が開かれました。冷たい雨と風の中たくさんの方がお餅つきを楽しんでいました。綱島東小学校の周りの地区では餅つき大会があるそうですが綱島東にはないということで地域の皆さんがなんとか東小でもできないかと考えてくださり実現しました。このように地域と学校もしっかり連携して活動を進めています。餅つき大会にご尽力くださった皆様ありがとうございました。

今回はその三者の中で、学校と家庭の協力について考えてみたいと思います。

子どもたちは学校の学習や様々な活動の中で知識を得たり人とのかかわり方を学んだり集団の中で、家庭では学べない社会性を身に付けています。その中には良いことも、悪いことも体験するかもしれません。また、仲が良い友達もできるでしょう。苦手だと思う仲間もいるかもしれません。その時に、どうしたらよいかを学ぶ場が学校でもあるし、家庭でもあるとしたらその代表同士が困り感を共有して同じ対応で子どもたちに接していくことが大切です。

共有ができないと困るのは子どもたちです。将来どんな子どもに育ててほしいかの部分を学校と共有して、対応していけると良いですね。時には厳しい対応もあるかもしれませんが、それが子育てではないでしょうか。またそのような対応の中で、子どもたちは成長していきます。子どもは、保護者の皆様や教師のことも、成長させてくれると思います。力を合わせて子どもたちの為に子育て頑張りましょう。

令和5年度の1年間を通じて保護者の皆様、そして地域の皆様、まるっとつなひがの皆様、さまざまな教育活動で支援して下さったボランティアの皆様、学校教育に深い理解と温かいご支援を賜りました。お世話になりました。ありがとうございました。今年の4月の入学式、始業式のころには環境ボランティアの皆さんと栽培委員会の子供達植えたチューリップが東門の花壇できれいに咲いていると思います。とても楽しみです。1年間ありがとうございました。

